

尾道市実証実験サポート事業

観光地における観光閑散期の観光資源の有効活用

<採択内容>

- 経費支援あり
- 経費支援なし

採択された内容について、いずれかにチェックを入れてください。

株式会社 mobby ride

※本様式は、適宜、ページ数、レイアウト等変更して構いません。

1 会社概要

mobby ride



社名	株式会社mobby ride
事業開始	2019年6月
所在地	〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名 2 - 6 - 1 1 Fukuoka Growth Next
代表者	安宅 秀一
連絡先	担当 : 中村 (丸紅株式会社 業務委託) 安宅 Tel : 03-3282-2892 e-mail : project@mobbyride.jp

2 会社事業概要 (1/7)

電動マイクロモビリティシェアリングサービスを展開

mobby

mobby biz

B to B事業

B to B to C事業

B to C事業

OEM事業



地方だからこそ存在する
大規模な工場や建設現場
大学キャンパスなど



集客に困っており
少しでも収益源を補いたい
テーマパークや公園など



市内でのラスワンマイル
観光地での移動



企業や自治体が簡単に
オリジナルブランドで
電動マイクロモビリティを導入
できる仕組みを提供

経産省の新事業特例制度を活用した公道での実証実験も実現させ、全国各地で事業展開
国内における導入実績はNo.1

2 会社事業概要 (2/7) 提供先一例

mobby

mobby biz

B to B事業

B to B to C事業

B to C事業

OEM事業

九州大学



導入台数 31台導入
利用者数 1,428人

尾道市



導入台数 11台導入

福岡市中央区



最大導入台数 100台導入

トヨタ自動車九州



導入台数 110台導入
走行距離 20,000km超

国営海の中道海浜公園



導入台数 30台導入

福岡市南区など



Coming soon...

公道向け/私有地向け

100台以上の実績あり

2 会社事業概要 (3/7) mobbyの特徴

mobbyの特徴を活かした課題解決



	mobby	市販品	(ご参考) 自転車
エリア制限	利用可能エリアの設定	不可	不可
速度制限	1km/h単位での速度設定	不可	不可
ユーザー管理	利用資格の管理	不可	シェア型は可
位置情報の確認	車体の位置の監視・確認	不可	シェア型は可
鍵の共有	物理鍵不要での共有	一部可能	シェア型は可
遠隔での操作	管理画面から遠隔操作	不可	不可
車体のエラー把握	アクセル・ブレーキ・バッテリー等の異常検知	不可	不可
走行状況のトラッキング	車体・利用者ごとの走行距離・ルート、利用時間などの確認	不可	シェア型は可

2 会社事業概要 (4/7) mobbyの特徴



	mobby
エリア制限	利用可能エリアの設定
速度制限	1km/h単位での速度設定
ユーザー管理	利用資格の管理
位置情報の確認	車体の位置の監視・確認
鍵の共有	物理鍵不要での共有
遠隔での操作	管理画面から遠隔操作
車体のエラー把握	アクセル・ブレーキ・バッテリー等の異常検知
走行状況のトラッキング	車体・利用者ごとの走行距離・ルート、利用時間などの確認

IoTとGPS機能を活用し、 エリア制限と速度制限

- ① **走行可能エリア**
アクセルが有効
- ② **降車エリア**
アクセルが無効
- ③ **進入禁止エリア**
アクセルが無効
+車体から警告音
+スマホ通知
- ④ **駐車専用エリア**
貸し出し、返却が可能



2 会社事業概要 (5/7) mobbyの特徴

mobbyの特徴を活かした課題解決



	mobby
エリア制限	利用可能エリアの設定
速度制限	1km/h単位での速度設定
ユーザー管理	利用資格の管理
位置情報の確認	車体の位置の監視・確認
鍵の共有	物理鍵不要での共有
遠隔での操作	管理画面から遠隔操作
車体のエラー把握	アクセル・ブレーキ・バッテリー等の異常検知
走行状況のトラッキング	車体・利用者ごとの走行距離・ルート、利用時間などの確認

海外/国内での利用実績が豊富な車体を使用

- 最高速度 : 25km/h
(ルート毎に1km単位で速度設定可能)
- 走行可能距離 : 最大65km
- 重量 : 27.5kg
- バッテリー : 取り外し式リチウムイオンバッテリー
- 登坂能力 : 14% (8度)
- 乗車可能体重 : 100kg以下推奨
- 対象年齢 : 13歳以上推奨
- その他装備 : GPS、通信機能内蔵、LEDライト、テールランプ



2 会社事業概要 (6/7) mobbyの特徴



	mobby
エリア制限	利用可能エリアの設定
速度制限	1km/h単位での速度設定
ユーザー管理	利用資格の管理
位置情報の確認	車体の位置の監視・確認
鍵の共有	物理鍵不要での共有
遠隔での操作	管理画面から遠隔操作
車体のエラー把握	アクセル・ブレーキ・バッテリー等の異常検知
走行状況のトラッキング	車体・利用者ごとの走行距離・ルート、利用時間などの確認

遠隔操作可能な管理者画面の開発

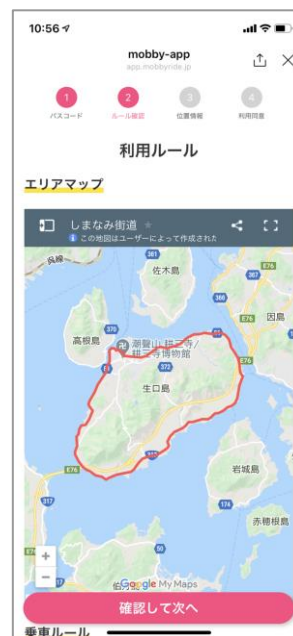


2 会社事業概要 (7/7) mobbyの特徴



	mobby
エリア制限	利用可能エリアの設定
速度制限	1km/h単位での速度設定
ユーザー管理	利用資格の管理
位置情報の確認	車体の位置の監視・確認
鍵の共有	物理鍵不要での共有
遠隔での操作	管理画面から遠隔操作
車体のエラー把握	アクセル・ブレーキ・バッテリー等の異常検知
走行状況のトラッキング	車体・利用者ごとの走行距離・ルート、利用時間などの確認

LINEでユーザー登録、QRコードをかざして開錠・施錠



※登録条件として、運転免許の確認や交通ルールクイズを入れることも可能

3 事業のコンセプトと概要

コンセプト

観光地における観光閑散期の観光資源の有効活用モデルの構築

概要

生口島内で観光客向けに貸し出し中の電動キックボードを、観光需要の少ない閑散期にはリーズナブルな料金で提供し、最適活用する仕組みを作る。
観光地における通年での車体有効活用モデルを採算性・オペレーションの両面から検証する。

実証実証を通じて目指す今後の事業の姿

1. 車に変わる移動手段としての普及

- 「ちょい乗り」のための自動車利用が減り、代わりに電動キックボード等が利用され、NOx等の有害物質排出削減、充電の電気が再生可能エネルギー由来である場合はCO2排出が抑制される。

2. 移動データの活用

- 車体にIoTが搭載されているため、車体・利用者ごとの走行距離、ルート、利用時間などを取得可能。島内移動者の移動データを活用することで、人の移動傾向から逆算したまちづくりに活用できる可能性がある。

3. 免許を持たない方々の移動の利便性向上

- 現状は電動キックボード等は道路交通法上「原動機付自転車」に分類されているため、運転免許は必須であるが、その規制は今後変わる可能性がある。免許が不要になれば、免許を取得できない学生や免許を持たない方々の島内の移動の利便性向上に貢献できる。

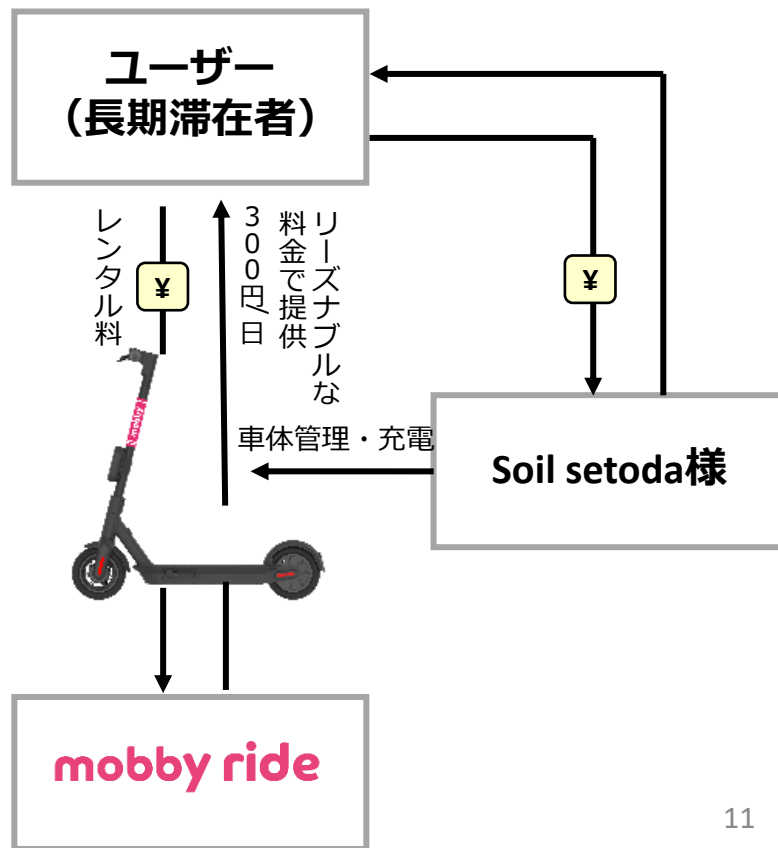
4 事業の詳細

実証実験スキーム

観光客向けに貸出中の電動キックボードのうち4台を長期滞在者専用とする。
観光客向け単価（3000円/3h、4000円/日）ではなく、12月-2月の冬季に限りリーズナブルな単価（300円/日）で貸し出し、利用のニーズを探る。

ユーザー利用フロー

1. 窓口で料金支払い (@soil setoda)
2. mobbyアカウント登録
 1. LINE友達追加
 2. 乗り方確認
 3. ルール確認テスト
3. 車体とヘルメットを借りる (@soil setoda)
4. 島内を移動（ポート以外での駐車は「一時駐輪」）
5. 車体とヘルメットを返却 (@soil setoda)



5 事業の結果

利用結果

実証実験期間中の利用回数は2回

【要因】

- コロナの影響で県を跨いでの来訪者が少なかった。
- 日常利用では自転車と同様の手軽さが求められるが、現状「原動機付自転車」扱いのため、ヘルメットの着用義務等、自転車と比較して利用のハードルが高い。
一方、観光客による利用は電動キックボードに乗ることを目的としたものもあり、ヘルメット着用での利用のハードルが低い。
- また免許証携帯必須であり、利用可能なユーザーに限られる

年月	300円/日での利用回数
2021年10月	
2021年11月	
2021年12月	1回
2022年1月	1回
2022年2月	
2022年3月 (3月15日現在)	



5 事業の結果

今後の展望

2022年3月4日、電動キックボードに関する内容も含まれる道路交通法改正案が閣議決定された。より便利で快適に乗れるよう新たなルール制定中。

- 時速20kmまでの車両であれば「特定小型原動機付き自転車」とする
- 16歳以上は免許なしで走行可
- 時速6km以下に制限した状態であること、車体が歩道走行モードであることを視認できることなど一定の条件下で歩道走行可
- ヘルメットの着用は努力義務にとどまり任意となる



**車とも自転車とも異なる新たな分類が適用されることにより
利用場面・ニーズの増加が予想される**

5 事業の結果

今後の展望

観光閑散期の車体の有効活用方法

ユースケース①

【生口島内長期滞在者の移動手段】

- 12月-2月の冬季に限り、移動手段を持たない長期滞在者にリーズナブルな単価で提供
 - 島内の移動の利便性向上に貢献することを目指す。
 - 宿泊代に電動キックボード利用料を含めたパッケージの構築も検討。施設の利便性向上に貢献することを目指す。

ユースケース②

【尾道市民限定価格での提供】

- 尾道市民限定にリーズナブルな単価で提供
 - 法改正により16歳以上は免許不要で走行可能になる可能性があることから、免許を取得できない学生や免許を持たない方々の島内の移動の利便性向上に貢献することを目指す。
 - 「ちょい乗り」のニーズに関しては自動車ではなく電動キックボードの利用を推奨することで、NOx等の有害物質排出削減、充電の電気が再生可能エネルギー由来である場合はCO2排出抑制に貢献することを目指す。